

部署紹介

医療療養病棟 8病棟

どんな部署？

当病棟は、急性期治療が終了した後も、引き続き継続的な医療管理が必要な患者さんを対象とした病棟です。人工呼吸器をはじめとする高い医療依存度への対応から長期的な療養環境の提供まで、幅広い役割を担っています。医療処置を確実に実践することはもちろん、患者さんとご家族が安心して過ごせるよう多職種と密に連携しながらケアに取り組んでいます。石倉先生と坂田先生の優しい雰囲気 が病棟の雰囲気を良くしてくれています。

アピールポイント

私たちの病棟は看護師、介護士がお互いを思い合って業務を行うことができます。チームワークがとても良く、それが患者様のケアに生かされていると感じています。8病棟では、どんな時でも相手の立場に立って考え、行動することを大切にしています。

ONE TEAM



一番高い場所にある病棟なので、海も見えて景色が最高です！



Pick up!

あたたかい
雰囲気の
病棟です！



看護師 田辺 悠生

趣味

キャンプ

好きな食べ物

焼肉

この職業に就いたきっかけ

高校時代の担任の先生に勧められて。
人の役に立つ仕事がしたいという思いもあり、看護師を目指しました！

仕事をしていて嬉しい時

患者さんの笑顔や「ありがとう」の言葉が
日々の励みになっています。

仕事をすることで気づいていること

相手の立場になって考えることを大切にしています。

ご家族へメッセージ

スタッフ全員で協力し、
患者さんやご家族に
安心して過ごしていただこう
努めています！

お知らせ

今津校区納涼夏祭りに出店します！

日時 2026年8/22(土)

時間 18:00~20:00

開催場所 今津小学校

あそびに
きてね！

シーサイド病院ブースでは
「お菓子ずくい」を行います！

医療法人 永寿会 **シーサイド病院**

シーサイド病院介護医療院

〒819-0165 福岡県福岡市西区今津3810番地

TEL 092-806-7171 FAX 092-806-5021

グループホームシーサイド 092-806-9067

ケアプランサービスシーサイド 092-805-7862

シーサイド病院訪問リハビリテーションセンター 092-806-7273

シーサイド通所リハビリテーションセンター

<https://www.seaside-hp.or.jp>



シーサイド病院広報誌

第26号

2026年8月発行

Instagram
公式アカウント



つなぐ
tsunagu



表紙画像：ある日の介護福祉士

特集 ユマニチュード研修を受けて

病院を支える委員会とは？ Vol.01

第4回川柳大会作品募集

部署紹介 医療療養病棟 8病棟



職員インタビュー

ユマニチュード研修を受けて

※「ユマニチュード」は、SAS Humanity社の登録商標です。



研修から約3ヵ月。学びを現場で実践する中で、感じた変化や見えてきた課題、そしてこれからの思いについて聞きました。

Q1. 研修を受ける前の印象は？

- 「そもそもユマニチュードって何？」という状態だった
- 自分の意思での参加ではなかったので、正直「嫌だな」「(研修に参加する)時間あるかな」という後ろ向きな気持ちが大きかった

Q3. 研修後、現場で実践したことは？

- 患者さん、入所者さんへの声かけが増えた
- 自分が相手に投げかけて終わり、ではなく相手の反応が返ってくるまで「待つ」ことを意識するようになった
- ノックの回数を意識するようになった



MEMO ノックの回数にもマナーがあります。トイレなどの空室確認時は2回、入室時には3〜4回のノックが一般的なマナーとされています。

Q2. 一番印象に残ったことは何ですか？

- ユマニチュードの技法を実践したときの入所者さんの反応の違いにとても驚いた
- できることを奪っていないか、業務優先となっていないか、今までのケアを振り返るきっかけになった

Q4. 3ヵ月経って、自分自身の変化を感じますか？

- 日常業務の中で自分のケアを振り返るようになった
- 声かけもただ声をかけるのではなく、しっかりと顔を見て声かけするようになった
- その人の持っている力に目を向けられるようになった
- 患者さん、入所者さんにとって最良のケアを提供したいという思いが強くなった

まずはできることから。 踏み出した一歩から見えた、これからの課題と目標。

介護医療院3棟 介護主任

研修では、入所者さん・患者さん一人ひとりを尊重し、関わることの大切さを学びました。しかし実際の現場では、業務との兼ね合いもあり、理想どおりに実践することの難しさを感じる場面もあります。それでも、「今の声かけは足りなかったな」「次の部屋では、きちんと名前を呼んでから声をかけよう」と日々振り返りながら、少しずつ実践を積み重ねています。特に、相手の目を見て名前を呼び、声をかけることは以前より意識するようになりました。今後は、研修を通して学んだことを現場で無理なく継続できるよう、一つひとつの実践を積み重ねながら、課題や工夫を整理し、他の職員と一緒に「どうすれば続けられるか」を考えていきたいです。また、最初から完璧を目指すのではなく、小さな取り組みを積み重ねながら、現場に合った実践方法を見つけ、無理なく継続できる環境づくりにつなげていきたいと考えています。そうした積み重ねが、ユマニチュードを根付かせ、より良いケアへとつながることを期待しています。

変わった意識と、相手の反応。 ユマニチュードを「理想論」で終わらせないために。

介護医療院1棟 介護主任

ユマニチュードを学ぶ前は、介助を拒否される方に対しても、必要なケアを優先せざるを得ない場面がありました。しかし、研修後は、相手の目を見て「今からオムツ交換しますね」と声をかけてから介助を始めたところ、以前より抵抗が少なくなり、ユマニチュードの効果を実感することがありました。また、声をかけてから少し待つことも意識するようになり、話さないと思っていた方から反応が返ってくるなど、新たな気づきもありました。こうした体験を、ぜひ他の職員にも実感してほしいと思います。実際に成功体験を積み重ねることで、ケアに対する考え方や患者さん・入所者さんとの関わり方が変わっていくと感じています。一方で、ユマニチュードを十分に知らない職員に「いいものだから実践していきましょう」と伝えるだけでは、「一人ひとりにそこまで時間をかけられない」という声が出るのも現場の現実です。だからこそ、小さな成功体験を職員同士で共有し、一人でも多くの職員にユマニチュードの良さを実感してもらいながら、実践の輪を広げていきたいと思っています。



第4回

川柳大会 作品募集

応募者には
参加賞として粗品を進呈!

※直接応募の場合のみ
※当院オリジナルグッズ(いずれか)(タオル・シーツ・サドル・トートバッグ)

今津周辺で使える食事券を進呈!

さらに...
上位入賞
作品には

- ・かずら (実勢 4,000 円分)
- ・今津商店 (お弁当・パン・デザート)
- ・カフェ Hug (商品券 2,000 円分)

シーサイド病院では川柳作品を募集します

作品テーマ 『夏あるある』

夏ならではの出来事や、思わず共感してしまうエピソード、
クスッと笑える日常を川柳にしてみませんか?

募集期間: 2026年9月15日(火)まで

応募方法: ①来院時に直接応募 [受付] 月~土 9:00~16:30



②Webから応募
←こちらのQRコードより応募できます

※Webからの応募の場合粗品のお渡しはできません

※粗品の進呈はお一人様1回限り

入賞作品: 当院にて掲示・広報誌に掲載します

※ペンネームのみでの応募も可能ですが入賞時の賞品はありません

作品例

夏までに
痩せると言いつつ
夏が来た

そつめんと
ともに流さる
おやしギヤ

暑すぎる!
財布も同じく
厚くあれ



今後の特集では、当院で活動しているさまざまな
委員会について紹介していきます!

委員会では話し合われた内容は院内へ周知され、日々の業務に反映されています。普段は患者さんやご家族の目に触れる機会は少ないかもしれませんが、委員会活動は病院運営を支える大切な仕組みの一つです。

- 患者さん・入所者さんの安全対策
- 感染対策に関するルールづくり
- 介護・医療の質向上に向けた活動
- 職員教育や研修の企画



委員会では、次のようなテーマを担当しています。

病院を支える 委員会 Vol.01 とは?

当院では、医師や看護師、介護士、リハビリ療法士をはじめとするさまざまな専門職が、それぞれの役割を担っています。しかし、病院を安全かつ円滑に運営するためには、部署ごとの活動だけでなく、病院全体の課題について話し合い、方針を決める場も必要です。その役割を担っているのが「委員会」です。

委員会は、医師・看護師・介護士・リハビリ療法士・薬剤師・管理栄養士・事務職員など、多職種の人材で構成され、部署の垣根を越えて病院全体に関わる課題や取り組みについて検討しています。